研究を支えるエンジニア

生体分子解析と材料研究を結び付ける



近藤 史弥
KONDO, Fumiya

技術開発・共用部門 / 材料創製・評価プラットフォーム
バイオ分析ユニット エンジニア

評価系の分析装置を用いた研究支援

バイオ分析ユニットのミッションは、バイオ系実験全般を実行できる研究環境の提供です。細胞の培養や顕微鏡観察、生体分子の抽出や分析まで、広範に技術支援を行っています。また、豊富な実験装置群を活用し、バイオ以外の研究分野でのご利用や、大学・企業の方のご利用にも対応しています。
私自身のメインの業務は、評価系の分析装置を用いた研究支援です。装置操作のトレーニングや測定補助に加え、測定前の相談やデータ取得後の解析サポートにも対応します。担当装置は熱量計や質量分析装置、核磁気共鳴装置などさまざまで、またその使用用途もバイオ系実験に限らず多岐にわたります。

利用者の専門分野や経験に合わせたサポート

バイオ分析ユニットの装置は、生命科学分野に限らずさまざまな研究分野で利用されています。バイオ系の実験に馴染みのない利用者も少なくありません。そのため、利用者の専門分野や経験に合わせた説明やサポートを心掛けています。また、生体分子から有機・無機材料まで幅広い試料を扱うため、自身の専門外の分野についても知識習得に努め、より良い研究支援につなげられるよう取り組んでいます。

生体分子解析と材料研究を結ぶ技術開発

私の専門である生体分子解析と、NIMSの強みである材料研究を結び付ける技術開発に取り組んでいます。例えば、ナノ粒子とタンパク質の相互作用について、熱量計や核磁気共鳴装置、光散乱測定など異なる原理の分析手法を組み合わせることで、多角的な評価手法の構築を進めています。こうした取り組みを通じて解析技術を確立し、生体分子と材料の境界領域における研究支援の充実につなげていきたいと考えています。

私の仕事スタイル

- じっくり話を聞きたい
- 一緒に考えるのが好き
- まず試して答えを探したい
- 必要な人や技術につなぎたい

担当する技術・設備



等温滴定型カロリメーター



溶液核磁気共鳴装置

関連情報

- バイオ分析ユニット
- SAMURAI NIMS Researchers Directory Service →

利活用事例・技術情報

等温滴定型カロリメーター
（MicroCal PEAQ-ITC）
利活用事例を見る →

溶液核磁気共鳴装置
（JNM-ECZL600R）
利活用事例を見る →